

研究課題名	原発性副甲状腺機能亢進症における腎機能と尿カルシウム排泄の関連についての検討
研究の意義・目的	原発性副甲状腺機能亢進症は、成人の約 1%にみられる内分泌疾患であり、副甲状腺から副甲状腺ホルモン（PTH）が過剰に分泌されることにより、高カルシウム血症を生じます。本疾患の診断においては、同じく高カルシウム血症をきたす家族性低カルシウム尿性高カルシウム血症との鑑別が重要であり、その鑑別には尿中のカルシウム排泄量が参考にされます。一方で、原発性副甲状腺機能亢進症では腎機能が低下することがあり、腎機能が低下した状態では、尿中のカルシウム排泄量が正確に評価できなくなってしまう可能性があります。そのため、家族性低カルシウム尿性高カルシウム血症との鑑別が困難となる場合があります。しかしながら、原発性副甲状腺機能亢進症における腎機能と尿カルシウム排泄の関連についてはこれまで十分な検討が行われていません。そこで本研究では、原発性副甲状腺機能亢進症と診断された患者さんや腎疾患で通院・入院された患者さんを対象に、腎機能と尿カルシウム排泄の関係を検討し、今後の原発性副甲状腺機能亢進症における適切な診断方法の確立に役立てることを目的とします。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~ 2030 年 12 月 31 日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2016 年 1 月～2026 年 2 月に大阪公立大学医学部附属病院の骨・内分泌内科で、原発性副甲状腺機能亢進症と診断された 18 歳以上の方、もしくは 2016 年 1 月～2026 年 2 月に大阪公立大学医学部附属病院の腎臓内科に通院・入院し尿中カルシウムを評価した 18 歳以上の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、服薬歴、血液検査、尿検査、画像検査、治療内容】
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学のみで行います。 【研究責任者】藏城 雅文
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。

	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 (担当者氏名) 藏城 雅文 電話番号 : (06) 6645-3806